

東京都慰霊堂



基本情報

所 在：東京都横網町公園
 住 所：東京都墨田区横網2-3-25
 （都営地下鉄 両国駅 徒歩2分）
 連 絡 先：横網町公園事務所 03-3622-1208
 建 立 者：東京都
 建 立 年：昭和26年9月（震災記念堂としては昭和5年9月建立）

経 緯

震災記念堂 東京都慰霊堂 由来記

顧れば1923（大正12）年9月1日突如として関東に起こった震災は東京市の大半を焦土と化し、5万8千の市民が業火の犠牲者となった。このうち最も惨禍をきわめたのは陸軍被服廠跡で、当時横網町公園として工事中であった。与論は再びかかる惨禍なきことを祈念し慰霊記念堂を建立することとなり官民協力広く浄財を募り伊東忠太氏等の設計監督のもとに1930（昭和5）年9月この堂を竣成し東京震災記念事業協会より東京市に一切を寄付された。

堂は新時代の構想を加味した純日本風建築の慰霊納骨堂であると共に、広く非常時に対応する警告記念として、亦公共慰霊の道場として設計された三重塔は135尺基部は納骨堂として5万8千の霊を奉祀し約200坪の講堂は祭式場に充て正面の祭壇には霊碑霊名簿等が祀られてある。

爾来年々祭典法要を重ね永遠の平和を祈願し「備えよつねに」と相戒めたのであったが、はからずも1944（昭和19）、45（昭和20）年等にいたって東京は空前の空襲により連日爆撃焼夷の禍を受け数百万の家屋財宝は焼失し無慮十万をこえる人々はその難に殉じ大正震災に幾倍する惨状を再び見るに至った。戦禍の最も激じんをきわめたのは45（昭和20）年3月10日であった。江東方面はもとより全都各地にわたって惨害をこうむり約7万7千人を失った。当時殉難者は公園その他130ヶ所に仮埋葬されたが48（昭和23）年より逐次改葬火葬しこの堂の納骨堂を拡張して遺骨を奉安し、51（昭和26）年春戦災者整葬事業を完了したので東京都慰霊堂と改め永く諸霊を奉安することになった。

横網公園敷地は約6000坪、慰霊堂の建坪は377坪余、境内には東京復興記念館 中華民国仏教団寄贈の弔霊鐘等があり、又災害時多くの人々を救った日本風林泉を記念した庭園及び大火の焔にも耐え甦生した公孫樹を称えた大並木が特に植えられてある。

1951（昭和26）年9月 東京都

東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑



基本情報

所 在：都立横網町公園内
 住 所：東京都墨田区横網2-3-25
 （都営地下鉄 両国駅 徒歩2分）
 連 絡 先：東京都復興記念館 03-3622-1208
 建 立 者：東京都
 建 立 年：平成13年3月

説明文

東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑

第二次世界大戦で、東京は、昭和17年4月18日の初空襲から終戦当日の昭和20年8月15日に至るまで、アメリカ軍の度重なる空襲により甚大な被害を受け、大方が非戦闘員である多くの都民が犠牲となりました。

こうした東京空襲の史実を風化させることなく、また、今日の平和と繁栄が尊い犠牲の上に築き上げられていることを次の世代に語り継ぎ、平和が永く続くことを祈念するための碑を建設しました。

この碑の建設に当たっては、「東京の大空襲犠牲者を追悼し平和を願う会」の呼びかけにより、多くの方々から寄附が寄せられました。

斜面を覆う花は生命を象徴しています。碑の内部には東京空襲で犠牲になった方々のお名前を記録した「東京空襲犠牲者名簿」が納められています。

平成13年3月 東京都

夢違之地蔵尊



基本情報

所 在：菊川橋西側 菊川橋児童遊園内
 住 所：東京都墨田区菊川3-13-2
 (都営地下鉄 菊川駅 徒歩5分)
 連 絡 先：弥勒寺 03-3632-3692
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：昭和58年3月10日

説明文

夢違地蔵尊縁起

一九二三年(大正十二年)関東大震災に於ける下町の惨禍は遭難死者五万八千名に及びその遺骨を収納し、東京都慰霊堂が建立され、その加護と平安を願い毎年九月一日を記念日と定め、官民あげて法要が営まれているが、この地も焦土と化しその物故者も多いため、毎年その慰霊法要を行うに至った。一九四一年(昭和十六年)太平洋戦争勃発し、戦局利にあらず、殊に一九四五年(昭和二十年)三月九日より十日にかけての米戦略爆撃機B29による東京空襲は最も熾烈を極め僅か数時間で下町を中心に二十七万八千余戸を焼失し無慮七万八千余の殉難者を出した広島 長崎の原爆の戦史に比類する永遠に忘れ得ぬ悲惨な史実である。

まだ春浅き三月九日夜半 雨あられの如く投下された焼夷弾は、いとまなき出火となり立ち向かう術もなく、劫火の中を、親は子を子は親を、呼び合い叫び逃げまどい 或は壕に入り、水面に飛込み、或は公園、校舎に走り、ついに力尽きてその声も消え果て、やがて倒れ重なりまっ黒な焼身と化し、水に入りては沈泥に骸と果て、翌朝光の中の惨状は眼を覆うばかりであった。生き残れる者僅かにしてそのさまは亡者のようであった。この地の殉難者数約三千余名といわれている。

この地蔵尊の在わします菊川橋周辺の惨禍は、東京大空襲を語るとき後世まで残るもので霊地として守らねばならない聖域である。而して復興なり一九八三年(昭和五十八年)三月十日、誠心集い浄財を集め仏縁深き弥勒寺住職の教示を得て、これか悪夢の消滅を願い、これを善夢に導き、再びこの悲史をくり返さないようにと、夢違之地蔵尊と命名され開眼法要、殉難者追悼供養を施行した。

時移り再び多大なる協賛を得て夢違之地蔵尊縁起の史碑建立となり地蔵講が生まれた。願わくば子々孫々への加護と人類の平和を祈念して本日此処に慰霊法要を謹んで行うものである。

合掌

一九八五年三月十日

弥勒寺第五十七代住職 岩堀真至謹書
 夢違之地蔵尊縁起史碑建立 協賛者一同

戦災殉難諸精霊供養之碑



基本情報

所 在：能勢妙見山別院
 住 所：東京都墨田区本所4-6-14
 （都営地下鉄 本所吾妻橋駅 徒歩10分）
 連 絡 先：能勢妙見堂 03-3623-2484
 建 立 者：檀家有志
 建 立 年：昭和36年3月10日

碑 文

【表】

戦災殉難諸精霊供養之碑

【裏】

昭和三十六年三月十日
 東京都知事 東 龍太郎



戦災殉難者供養之碑



基本情報

所 在：法恩寺
 住 所：東京都墨田区太平1-26-16
 (JR錦糸町駅 徒歩10分)
 連 絡 先：法恩寺 03-3622-8267
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：昭和20年9月

碑 文

戦災殉難者供養之碑



戦災殉難者慰霊之塔 ほか



戦災殉難者慰霊之塔(左)と
戦災精霊五十回忌供養塔(右)

戦災懐古の碑

基本情報

所 在：明源寺
 住 所：東京都墨田区立花1-13-10
 (東武鉄道 東あずま駅 徒歩5分)
 連 絡 先：明源寺 03-3617-5858
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：戦災殉難者慰霊之塔 昭和40年3月
 戦災懐古の碑 昭和42年3月
 戦災精霊五十回忌供養塔 平成7年

碑 文

戦災殉難者慰霊之塔

時に昭和二十年三月十日未明空襲
 における戦災殉難者及び地区内百
 二十余命の霊を慰めるものなり

昭和四十年三月建立

発願人 中田武雄

暗雲低覆我家偕 満目荒涼累積骸
 来襲米機焚萬物 敗兵涙見墨東街
 戦災懐古

昭和四十二年三月

まん つくり かく

戦災精霊五十回忌供養塔

爆音鳴響米機来 一意護都遇戦災
 君死我存今日到 叩頭僅獻慰霊杯
 追憶献杯 二十五世 巨宗萬年

戦災殉難諸精霊供養塔



基本情報

所 在：慈光院
 住 所：東京都墨田区立花1-29-3
 (東武鉄道 東あずま駅 徒歩8分)
 連 絡 先：慈光院 03-3612-4469
 建 立 者：住職 竹内法雄、地元有志一同
 建 立 年：昭和48年11月25日

碑 文

【表】

戦災殉難諸精霊供養塔

【裏】

昭和四十八年十一月二十五日建立
 住職 竹内法雄
 地元有志一同

大東亜戦争殉難者之碑



基本情報

所 在：円通寺
 住 所：東京都墨田区押上2-39-6
 (都営地下鉄 押上駅 徒歩5分)
 連 絡 先：円通寺 03-3611-5508
 建 立 者：元吾嬬町西一丁目連合町会会長 小野内寿松、役員一同
 建 立 年：昭和43年3月10日

※一般戦災死没者を含む

碑 文

【表】

大東亜戦争殉難者之碑

昭和二十年三月十日

【表】

元吾嬬町西一丁目連合町会会長 小野内寿松
外役員一同

昭和四十三年三月十日建立
野澤勝治書

東京大空襲戦災犠牲者追悼碑



基本情報

所 在：隅田公園 言問橋西側
 住 所：東京都台東区浅草7-1
 (東武鉄道 浅草駅 徒歩10分)
 連 絡 先：台東区 都市づくり部 公園課 03-5246-1111 (代表)
 建 立 者：台東区
 建 立 年：昭和61年3月

碑 文

あゝ 東京大空襲 朋よやすらかに

説 明 文

戦災により亡くなられた方々の碑
 台東区浅草七丁目一番

隅田公園のこの一帯は、昭和二十年三月十日の東京大空襲等により亡くなられた数多くの方々を仮埋葬した場所である。

第二次世界大戦（太平洋戦争）中の空襲により被災した台東区民（当時下谷区民、浅草区民）は多数に及んだ。

亡くなられた多くの方々の遺体は、区内の公園等に仮埋葬され、戦後だびに付され東京都慰霊堂（墨田区）に納骨された。

戦後四十年、この不幸な出来事や忌わしい記憶も、年毎に薄れ、平和な繁栄のもとに忘れ去られようとしている。

いま、本区は、数少ない資料をたどり、区民からの貴重な情報に基づく戦災死者名簿を調製するとともに、この地に碑を建立した。

昭和六十一年三月 台東区

戦災慰霊碑



基本情報

所 在：真源寺（入谷鬼子母神）
 住 所：東京都台東区下谷1-12-16
 （東京メトロ 入谷駅 徒歩2分）
 連 絡 先：真源寺 03-3841-2569
 建 立 者：浅草畳工業組合
 建 立 年：昭和42年3月9日

碑 文

【表】

戦災慰霊碑

【裏】

昭和四十二年三月九日
 浅草畳工業組合建立



平和地蔵尊



基本情報

所 在：浅草寺
 住 所：東京都台東区浅草2-3-1
 (東京メトロ 浅草駅 徒歩5分)
 連 絡 先：浅草寺 03-3842-0181
 建 立 者：龍郷定雄
 建 立 年：昭和24年4月

碑 文

平和地蔵尊

説 明 文

平和地蔵尊由来記

オ二次世界大戦はその規模においても その被害
 についてもまことに甚大であった ことに昭和二
 十年三月十日の大空襲には この附近一帯は横死
 者の屍が累として山をなし その血潮は川となっ
 て流れた その惨状はこの世の姿ではない これ等
 の戦争犠牲者の霊を慰めることこそ 世界平和
 建設の基となるものである ここに平和地蔵尊を
 祭り その悲願を祈るため 昭和二十四年四月
 こゝに安置された才第である

浅草大平和塔



基本情報

所 在：浅草寺
 住 所：東京都台東区浅草2-3-1
 (東京メトロ 浅草駅 徒歩5分)
 連 絡 先：浅草寺 03-3842-0181
 建 立 者：浅草大平和塔維持会
 建 立 年：昭和38年8月15日

碑 文

みたまよ とこしえに 安らかに われら守らん 世界の和
 湯川秀樹

説 明 文

建設趣意書

思い出づる調べも哀し昭和二十年三月九日の夜、
 B29百五十機の大空襲により浅草一带は火の海とな
 る。地をなめるようにして這う火焰と秒速三十米を
 こす 烈風にあふられ、親は子を呼び、子は親を求む
 れど、なすすべもなし。おののき叫び逃げまどい、
 悪夢の如き夜が去れば……眼にうつるものは一面の
 焦土にて、一木一草の生づるもなく、あわれ身を焼
 かれ路傍に臥す無辜の犠牲者は一万余柱を数う。

当時その凄惨な状況は一片の新聞だに報道される
 ことなく、敗戦後に生まれた子供達は戦争の惨禍を知
 るよしもない。いたましく悲しい夜もいつしか歴史
 の一駒として消えて行くであろう。

よって我々はここに当時を偲び、不幸散華された
 御霊の安らげく鎮まりまさんことを祈り、二度とあ
 やまちを繰返すことなく永遠に世界の平和を守らん
 ことを誓い、浅草観音の浄域にこの碑を建立する。

以て瞑せられよ。

昭和三十八年八月十五日

浅草大平和塔維持会

時忘れじの塔



基本情報

所 在：上野公園 いこいの広場
 住 所：東京都台東区上野公園5-20
 (JR上野駅 徒歩5分)
 連 絡 先：上野公園 03-3828-5644
 建 立 者：海老名香葉子、有志一同
 建 立 年：平成17年3月9日

碑 文

時忘れじの塔

関東大震災（大正十二年） 東京大空襲（昭和二十年）

東京にも、現在からは想像もできない悲しい歴史があります。
 今、緑美しい上野の山を行き交う人々に、そのような出来事を
 思い出してもらおうとともに、平和な時代へと時をつなげる心の
 目印として、この時計台を寄贈しました。

建立、寄贈 初代林家三平妻 海老名香葉子
 建立有志一同

慰霊碑 哀しみの東京大空襲



基本情報

所 在：寛永寺
住 所：東京都台東区上野公園17付近
(JR上野駅 徒歩5分)
連 絡 先：寛永寺 03-3828-5644
建 立 者：海老名香葉子、有志一同
建 立 年：平成17年3月9日

碑 文

慰霊碑 哀しみの東京大空襲

何の罪もない多くの人々が、戦時体制の下で悲惨な最期を遂げられたことを心から悼み、あらためてそのご冥福をお祈りすると共に、再びこうした悲劇が繰り返されないことを願って、この慰霊碑を建立する。

平成十七年（二〇〇五）年三月十日

説 明 文

哀しみの心をいつまでも

今年、昭和二十（一九四五）年の第二次世界大戦の終結からちょうど六十年、あの本所、深川を中心とした三月十日の「東京大空襲」も、次第に人々の記憶から薄れていこうとしています。

この年は、元旦早々B29が飛来して、浅草付近を空襲したのに始まり、一月だけでも百機を超える来襲があり、五百発もの爆弾と二千五百発もの焼夷弾が投下され、何の罪もない千五百余人の一般市民が死傷されました。

その後も東京は、実に数十回にも及ぶ空襲を受け、中でも三月九日の夜半から十日にかけての空襲は言葉に絶する程凄まじいものでした。

房総半島を経て飛来したB29は、十日の午前零時八分から一斉に下町を襲いました。この日来襲したB29は三百二十五機といわれ、実に千七百トンもの高性能焼夷弾を投下したのです。

人々は隅田川や上野公園を目指して必死に逃げましたが、このたった二時間の間に、実に十万人以上の方が犠牲になられたのです。

それは今想いだしても、本当の地獄図といえる程、悲惨な光景でした。

そして、翌日からこの上野の山には焦土と化した下町から夥しい数のご遺体が運ばれて来ました。この慰霊碑の付近の道端にも、米俵や箆を掛けられたご遺体が並べられたのです。

やがて、大八車やリヤカーを引いて、ご遺体を引き取りにみえる方もありましたが、多くのご遺体は身元不明のままでした。

そうしたご遺体は、この近くに巨大な穴を掘って、そこに仮埋葬され二年後に改めて掘り起こされ、茶毘に付されたうえ、本所横網町の震災記念堂にお祀りされました。

無論、こうした東京への空襲はその後も続きました。なかでもこの上野の山とその周辺が罹災した五月二十四日、二十五日の空襲は、凄まじいものでした。

今、終戦から六十年の歳月が経ち、こうした生々しい記憶が次第に薄れていきつつある時、下町の焦土化を見守り、そこでの無辜の犠牲者を暖かく迎えたこの上野の山に、私たちは心からの慰霊碑を建て、東京全域に亘る悲惨な犠牲者の霊を弔い、これからの日本を支えていく若い人々に、この「哀しみの心」を伝えていきたいと希っているのです。

平成十七（二〇〇五）年三月十日

海老名香葉子
建立有志一同

戦災犠牲者慰霊碑



基本情報

所 在：東深川橋 南側
 住 所：東京都江東区白河2
 （都営地下鉄 清澄白河駅 徒歩5分）
 連 絡 先：都合により記載せず
 建 立 者：平谷章
 建 立 年：昭和46年8月15日

碑 文

昭和二十年三月九日夜の大空襲により首都東京は一瞬に
 して火の海と化し我白河二丁目もまた廃墟となる
 その夜の焼死者実に七百余名の多きに及ぶ 其惨状は筆舌
 につくし難い同年八月十五日終戦となる
 我々町民は全くの無一物焦土の中より起上り復興の為凡ゆる困
 苦と闘ひ欠乏に耐えて廿六年今日戦前にもました未曾有の繁栄
 を遂ぐるに至る顧みて幾多の尊き犠牲者の冥福を祈り今後戦争の
 絶滅を期すると共に我町会の復興を記念して茲に相計り記念碑を建立する

昭和四十六年八月十五日 町会長 平谷章 記

在日五十四年帰国記念為建之

戦災殉難者供養之碑



基本情報

所 在：普門院
 住 所：東京都江東区亀戸3-4-3-3
 (JR亀戸駅 徒歩15分)
 連 絡 先：普門院 03-3681-8304
 建 立 者：有志一同
 建 立 年：昭和21年3月10日

碑 文

昭和二十年三月十日歿
 戦災殉難者供養之碑

説 明 文

時も忘却も我が泪を乾すまじ

この碑は昭和二十年三月十日我国で
 最初の大量の犠牲者を出した大空
 襲による多くの殉難者を悼むために亀戸
 駅前の焦土に建てた供養碑であります

昭和二十九年晩秋都市区割整理
 に依て奉賛会は普門院の浄域を擇んで
 移転し平和の礎となつた貴い人々
 の冥福を永遠に祈るために奉安
 しました

昭和三十年三月十日 誌

誌

この碑は昭和貳拾年参月拾日の亀戸地区戦災殉難者
 供養のため建立せられたものであります
 本年三十三回忌を迎えるに当り記念事業として永く
 後世に伝えるため碑及び周辺の整備改修を行い再び
 惨禍を繰り返さないことを念願し諸霊位の冥福を祈
 るものであります

昭和五拾貳年参月拾日
 亀戸町会連合会

戦災殉難殃死者供養碑



基本情報

所 在：冬木弁財天
 住 所：東京都江東区冬木2-2-31
 (東京メトロ・都営地下鉄 門前仲町駅 徒歩8分)
 連絡先：冬木弁財天 03-3642-9051
 建 立 者：不明
 建 立 年：不明

碑 文

深川一丁目 深川二丁目 冬木町

戦災殉難殃死者供養碑

大僧正 慈道拝書



戦災殉難者諸精霊供養塔



基本情報

所 在：良信院
 住 所：東京都江東区三好3-7-5
 (都営地下鉄 清澄白河駅 徒歩5分)
 連 絡 先：良信院 03-3641-7594
 建 立 者：三好三丁目町会
 建 立 年：平成6年3月

碑 文

【表】

戦災殉難者諸精霊供養塔

【裏】

平成六年三月 五十回忌供養に之建

願主 三好三丁目町会

希いの像



基本情報

所 在：江東区役所
 住 所：東京都江東区東陽4-11-28
 （東京メトロ 東陽町駅 徒歩10分）
 連 絡 先：江東区 総務部 総務課 03-3647-9111（代表）
 建 立 者：江東区
 建 立 年：平成57年3月10日

碑 文

希 い

江東区は、昭和二十年（一九四五年）三月九日夜半から十日にかけての、東京大空襲により、街は壊滅状態となり、多くの尊い人命を失いました。この犠牲者の鎮魂と恒久の平和、安全を念願し永く忘れないために、この記念像を建立したのであります。

この母子像は、母が子を慈しみ育て、幸せな日々が続き、そしてこの子が成長した時も平和な日々であることを願うものであり、人と人が愛しあい、国と国とが平和で結ばれていますよう祈るものであります。

平和の希いは、現在に生きる私たちの心であります。

昭和五十七年三月十日 建之
 江東区長 小松崎軍次

母子像「戦火の下で」



基本情報

所 在：東京大空襲・戦災資料センター
 住 所：東京都江東区北砂1-5-4
 （JR秋葉原駅より都営バス「北砂1丁目」下車 徒歩2分）
 連 絡 先：東京大空襲・戦災資料センター 03-5857-5631
 建 立 者：東京大空襲・戦災資料センター
 建 立 年：平成14年3月14日

説明文

「戦火の下で」

制作 河野 新

原型1978 設置2002.3.10

経 緯

河野新さん制作になるこの母子像は、江東区の母親たちが戦災の死者たちの追悼のためのモニュメントの建立を思い立った時、制作されたものです。センター開館にあたってブロンズ像となり、正面に置かれました。抱きしめた幼い命の無事をひたすら願う母の姿に、あの日の自分を重ね合わせる人も多いと思います。

（出典「戦災資料センターから東京大空襲を歩く」より）

世界の子どもたちの平和像（東京）



基本情報

所 在：東京大空襲・戦災資料センター
 住 所：東京都江東区北砂1-5-4
 （JR秋葉原駅より都営バス「北砂1丁目」下車 徒歩2分）
 連絡先：東京大空襲・戦災資料センター 03-5857-5631
 建 立 者：世界の子どもたちの平和像を東京につくる会
 建 立 年：平成13年5月5日

説明文

世界の子どもたちの平和像（東京）
 平和を育む

目をそむけません 過去の苦しさ いまの世界から
 決意します 核兵器も戦争もない二十一世紀をつくることを
 走りつづけます 世界の平和を願う歴史のリレーランナーとして 未来へ

「世界の子どもたちの平和像」は、平和を願う私たち子どもからあなたへ、あなたから未来へのメッセージです。

この子どもたちの平和像をつくる活動のきっかけは、広島にある「原爆の子の像」の話をきいて感動したアメリカの子どもたちが一九九五年に「子どもたちの平和像」をたて、「世界中に子どもたちの平和像をたてたい」とよびかけたことにあります。

私たちは、日本がアジアの国々を侵略していったこと、東京大空襲や沖縄戦、広島・長崎に原爆が投下されたこと、そして南太平洋で核実験の被害にあった第五福竜丸のことなどから、戦争や核兵器の悲惨さ、平和や生命の大切さを学んできました。そして、平和を願うたくさんの人々の思いを受けとってきました。

だから、この平和像に「核兵器と戦争のない二十一世紀を」「ひとりひとりの人権が大切にされる社会を」「差別や貧困のない世界を」という私たちの願いをこめています。

歴史の真実を学び、考えましょう。それは、もっともっと生命が大切にされる未来をつくることにつながるからです。

未来をつくるのは私たち子どもです。

学び、語り、伝え、ともに平和な未来をつくっていきましょう。

二〇〇一年五月五日

世界の子どもたちの平和像を東京につくる会

平和地蔵



基本情報

所 在：東京大空襲・戦災資料センター
 住 所：東京都江東区北砂1-5-4
 (JR秋葉原駅より都営バス「北砂1丁目」下車 徒歩2分)
 連絡先：東京大空襲・戦災資料センター 03-5857-5631
 建 立 者：石居幸蔵、親戚一同
 建 立 年：昭和29年3月10日

碑 文

【表】

平和地蔵

【裏】

石居幸蔵
 親戚一同
 建立

昭和二十九年三月十日
 石匠 秋本政雄

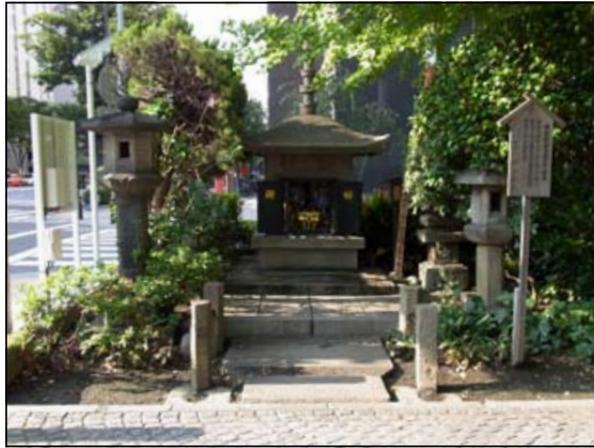
説 明 文

平和地蔵

平和地蔵の建立者、石居幸蔵さんは亀戸3丁目で鉄工所を営んでいたが、戦争末期に工場疎開で自宅とともに江戸川区に移転した。3月10日の空襲の後、亀戸の工場跡地近くに友人の安否を尋ねにいて、母と子などの夥しい焼死体を見た。これらの霊を慰めるため、子どもが地藏尊にしがみついている平和地蔵を、1954年(昭和29)3月10日、自宅に建てた。それ以来3代にわたって、2007年2月まで供養され、東京大空襲・資料センターに寄贈された。

提供 石居洋子氏

明治観音堂



基本情報

所在：浜町公園
 住所：東京都中央区日本橋浜町2
 （都営地下鉄 浜町駅 徒歩1分）
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：新田新作
 建立年：昭和25年12月

説明文

明治観音堂建立の由来

本堂は昭和二十年三月十日の
 戦災に依り戦没せる幾多の霊の
 冥福を祈る為建立す

昭和二十五年十二月
 発願主 新田新作

戦災遭難死者慰霊碑



基本情報

所 在：新亀島橋西側 新亀島橋児童遊園内
 住 所：東京都中央区日本橋茅場町3-13先
 (東京メトロ 茅場町駅 徒歩3分)
 連 絡 先：個人であり記載せず
 建 立 者：茅場町二、三丁目町会有志
 建 立 年：昭和53年3月10日

碑 文

【表】

戦災遭難死者慰霊碑

【裏】

昭和二十年三月十日夜半の空襲により
 全町焼失の際に遭難された霊を慰むる碑

昭和五十三年三月十日
 茅場町二、三丁目町会有志建之
 発起人代表 神林 清作

世代を結ぶ平和の像、旧小松川文書庫



旧小松川文書庫（元江戸川区役所文書庫）

基本情報

所 在：江戸川区小松川三丁目公園
 住 所：東京都江戸川区小松川3-6-2
 （都営地下鉄 東大島駅 徒歩10分）
 連 絡 先：江戸川区 総務部 総務課 03-3652-1151(代表)
 建 立 者：世代を結ぶ平和の像をつくる会
 建 立 年：平成3年3月10日

碑 文

【表】

世代を結ぶ平和の像
 圓鏝勝三作

【裏】

東京大空襲 江戸川区犠牲者追悼 世代を結ぶ平和の像

昭和20年3月10日の東京大空襲により、下町は炎の海と化し、10万人が亡くなり、100万人が家を失いました。

江戸川区でも、平井・小松川地区がほぼ全滅、800余名の人が尊い命を失い、当時小松川の地にあった区役所も消失し、その中で文書庫だけが焼け残りました。

江戸川区は、戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ貴重な歴史的建築物として、文書庫を保存することにしました。

この母子像は、文書庫の保存を記念して、戦争の過ちを再び繰り返さない誓いを込めて、東京大空襲で理不尽にも尊い命を落とされた犠牲者を追悼し、平和の尊さを世代を越えて語り継ぐために、1万数千余の方々の浄財をもとに、戦災を体験された文化勲章受章彫刻家圓鏝勝三先生に制作を委嘱し、平成3年3月10日に「世代を結ぶ平和の像」をつくる会より、江戸川区に寄贈されたものです。

関東大震災、東京大空襲 犠牲者慰霊碑



基本情報

所 在：台場公園
 住 所：東京都港区台場1-10
 （東京臨海新交通ゆりかもめ お台場海浜公園駅 徒歩15分）
 連 絡 先：東京都港湾局 臨海開発部 海上公園課 03-5320-5576
 建 立 者：東京都港湾局
 建 立 年：平成6年3月

碑 文

東京は、関東大震災及び第二次世界大戦末期の空襲により甚大なる犠牲を被った。二度の被災により隅田川河口近くに位置したここ旧防波堤にも、漂着した犠牲者が数多くみられたという。

これら諸霊に対し、故富川栄氏の呼びかけに共鳴した地元の心ある人々により、長い歳月に亘りたゆみなき供養が続けられてきた。

いま、当地周辺は未来都市に発展すべくまちづくりがすすめられている。そして、ここお台場海浜公園も新たな海上公園として再整備することとなった。これを受け平成五年九月二七日当地での最後の慰霊祭が行われ、その後は都の施設にて慰霊が続けられることになった。この事実を後世に伝えるべくここに記録する。

平成六年三月吉日 東京都港湾局

「山の手空襲」追悼碑



基本情報

所 在：北青山三丁目 表参道交差点前
 住 所：東京都港区北青山3-6-12
 （東京メトロ 表参道駅 徒歩1分）
 連 絡 先：赤坂地区総合支所 03-5413-7011（代表）
 建 立 者：港区赤坂地区総合支所、区政六十周年記念事業実行委員会
 建 立 年：平成19年1月

碑 文

和をのぞむ

太平洋戦争の末期、昭和二十年五月、山の手地域に大空襲があり、赤坂・青山地域の大半が焦土と化しました。

表参道では、ケヤキが燃え、青山通りの交差点付近は、火と熱風により逃げ場を失った多くの人々が亡くなりました。

戦災により亡くなった人々を慰霊するとともに、心から戦争のない世界の平和を祈ります。

港区政六十周年にあたり、この地に平和を願う記念碑を建立します。

平成十九年一月

港区赤坂地区総合支所

区政六十周年記念事業実行委員会

殉難五君之碑



基本情報

所 在：円乗院
 住 所：東京都大田区南馬込5-15-5
 (都営地下鉄 西馬込駅 徒歩5分)
 連絡先：円乗院 03-3771-4016
 建 立 者：草薙忠
 建 立 年：昭和21年5月25日

碑 文

【表】

殉難五君之碑

【裏】

昭和二十年五月二十四日、夜半より早暁に亘る空襲
 下に挺身敢斗寮舎を死守し、この地に殉職せしる
 山田勇、松本長太郎、斉藤金雄、萩原實、
 佐藤義夫五君の、壮烈果敢なる行為に深く感佩し、
 因って一碑を建て永く之を顕彰せんとす。
 希くは五君、吾等誓って郷等の遺志を継承せん。
 以って冥せられよ。

昭和二十一年五月二十五日
 一週年に當り 草薙忠 識之

新井宿観音堂



基本情報

所 在： 観音通り商店街
 住 所： 東京都大田区中央3-16-9
 (京急電鉄 大森町駅 徒歩17分)
 連 絡 先： 観音通り共栄会 03-3771-7744
 建 立 者： 観音通り共栄会
 建 立 年： 昭和23年

碑 文

縁 起

昭和二十年大東亜戦争終ヲ告ケ破却悲運ニ陥ル国民齊シク茫然タリ
 此間遠征ノ軍ニ伍シテ身ヲ犠牲ニスルモノ幾莫カ国内モ亦戦災ヲ被
 ルコト有史以來其類ヲ見サルノ厄ニ遇ヒ無辜ノ命ヲ黄泉に走ラス者
 数知レス痛恨限りナシ此戦死戦歿者ヲ追善供養セントテ本町内ニ観
 音会ヲ組式シ修善ノ人々相計リ昭和二十三年此地ニ仏堂ヲ建テ観音
 大士ノ尊像ヲ奉安シ其冥福ヲ祈ル

昭和三十三年福山義三郎ノ寄付ニヨリ仏堂再建シ尚宝塔ヲモ献納ス
 隅元居士ハ信仰厚ク浄土三部聖法花聖八巻ヲ浄寫シテ宝前ニ献セリ
 観音大士ハ自性清浄法性如來ト号シ奉ル然ニ大慈ヲ以ライ故ニ猶ホ
 菩薩ノ相ヲ現シ苦惱ノ衆生ヲ度シ樂邦ニ導キ玉フ

有縁無縁ノ人々心ヲ大士ノ慈顔ニ托シテ成仏ヲ願フヘキナリ

会長東秀二 副会長宇田川庫吉 其他多数委員芳名省略

光教寺住取 藤沢捷徳謹書

大田区戦没者慰霊塔



基本情報

所 在：池上本門寺
 住 所：東京都大田区池上1-1-1
 （東急電鉄 池上駅 徒歩15分）
 連 絡 先：池上本門寺 03-3752-2331
 建 立 者：大田区戦没者慰霊塔建設奉安会
 建 立 年：昭和37年4月8日

碑 文

慰 霊

説 明 文

慰霊塔建設誌

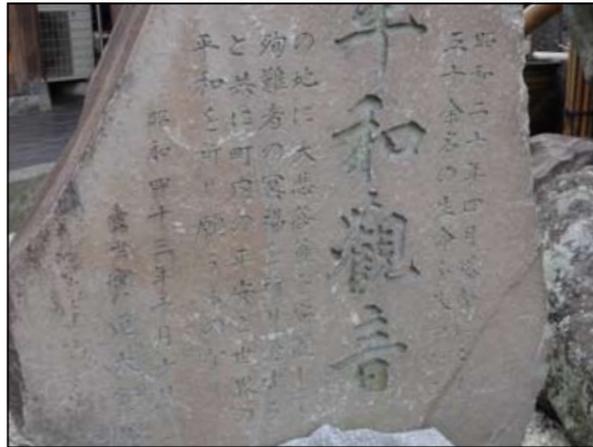
日華事変太平洋戦争における戦没軍人軍属の英霊と戦災で犠牲になられた人々の幽魂を弔慰し恒久の平和を祈念するため慰霊塔を建設すべく大田区自治会連合会大田区郷友会大田区遺族会及有志は昭和三十五年七月大田区戦没者慰霊塔建設奉賛会を結成した

区民の絶大なる協力と本門寺の好意を得て翌年九月二十三日この地に工を起し本日除幕の式を挙げるにいたった 塔内には日清日露の両役をもふくめた区内五千有余に及ぶ犠牲者名を十八地区別の芳名録に謹記して奉安した

われわれはこの慰霊塔を仰いで今後益々複雑となる国際関係の動きに処する決意を固め 祖国の発展と世界の平和に寄与することを英霊に誓いあわせてその加護を願うものである

昭和三十七年四月八日
 大田区戦没者慰霊塔建設奉賛会

池上平和観音



基本情報

所 在：曹禅寺
 住 所：東京都大田区池上7-22-10
 (東急電鉄 池上駅 徒歩7分)
 連 絡 先：曹禅寺 03-5700-5111
 建 立 者：曹禅寺
 建 立 年：昭和43年10月10日

碑 文

池上平和観音

昭和二十年四月爆撃により五十余名の生命を失つたこの地に大悲菩薩を安置して殉難者の冥福を祈り念すると共に町内の平安と世界の平和を祈り願うものなり

昭和四十三年十月十日

壹世實道大憲

五十間鼻無縁仏堂



基本情報

所 在：多摩川河口
 住 所：東京都大田区羽田6丁目
 （京急電鉄・東京モノレール 天空橋駅 徒歩7分）
 連 絡 先：不明
 建 立 者：不明
 建 立 年：不明

説明文

五十間鼻無縁仏堂の由来

創建年代は、不明であります。多摩川、又、関東大震災、先の第二次世界大戦の、昭和二十年三月十日の東京大空襲の折には、かなりの数の水難者が漂着致しました。

その方々を、お祀りしていると言われております。

元は、多摩川河口寄りの川の中に、角塔婆が一本立っているだけで有りましたが 初代 漁業組合長 故 伊東久義氏が管理し毎年お盆には、盆棚を作り、有縁無縁の御霊供養をしていました。昭和五十三年護岸工事に伴い、現在地に移転しました。その後荒廃著しく、仲七町会 小峰守之氏 故 伊東米次郎氏 大東町会 故 伊東秀雄氏 が、私財を持ち寄り復興致しました。

又、平成十六年に、村石工業、北浦工業、羽田葬祭スミヤ、中山美装、中山機設、の協力により新たに、ブロック塀、角塔婆、棧橋、などを修理、増設、現在に至ります。

又、新年の水難祈願として、初日の出と共に、羽田本町、日蓮宗 長照寺 住職 並びに信者の方々が、水難者への供養を、毎年行っています。

合掌
堂守護書

豊島区空襲犠牲者哀悼の碑



基本情報

所 在：南池袋公園（現在閉鎖中）
 住 所：東京都豊島区南池袋2-21-1
 （JR池袋駅 徒歩3分）
 連絡先：豊島区 土木部 公園緑地課 03-3981-1111（代表）
 建立者：豊島区
 建立年：平成7年8月

碑 文

恒久の平和を願って
 —豊島区空襲犠牲者哀悼の碑—

昭和20年4月13日深夜から翌14日未明にかけて東京西部北部一帯を襲った空襲は、豊島区の大半を焦土と化し、甚大な被害と深い悲しみをもたらしました。

死者778人、負傷者2,523人、焼失家屋34,000戸にのぼる被害により罹災者の数は161,661人と、実に当時の人口の約7割に及びました。

この空襲によって無念のうちに尊い命を失った数多くの犠牲者が、当時、「根津山」と呼ばれた、ここ南池袋公園の一角において埋葬されました。

先の戦争を通じて空襲の犠牲者となった豊島区民の冥福を祈るとともに、この悲惨な事実を永く後世に伝え、二度と再び戦争による悲劇を繰り返さぬように、この碑を建立します。

平成7年8月 豊島区

4・13根津山小さな追悼会



※写真提供 4・13根津山小さな追悼会 事務局

開催概要（平成22年度）

歳 時 名：4・13根津山小さな追悼会
 会 場：豊島区南池袋公園北側「空襲犠牲者哀悼の碑」前にて
 （JR池袋駅 徒歩3分）
 日 時：平成22年4月13日（火） ※例年4月13日開催
 参列者数：120人
 連絡先：4・13根津山小さな追悼会 03-3971-4771

式次第（平成22年度）

1. 開会のことば… 実行委員長
1. ごあいさつ… 代表 小田光野
1. 黙 禱… 全員
1. 鎮魂のことば… 有志
1. 朗 読… 豊島朗読の会「ききみみずく」
「焼け出された始末記」 岡田和道
1. 献 花… 全員
1. 斉 唱… 全員
1. 閉会のことば… 名誉顧問 前島郁子

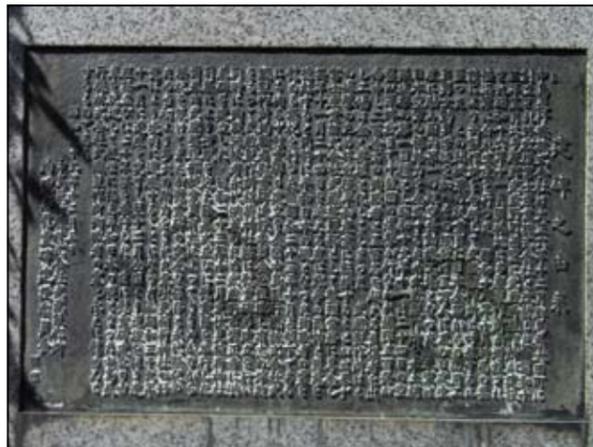
経 緯

「4・13根津山小さな追悼会」は、昭和20年4月13日城北大空襲被災50周年を期して、平成8年に発足いたしました。当時、区の人口の70%約16万人が被災し778名の尊い人命が失われ、この被災当時根津山と呼ばれた今の南池袋公園にも沢山のご遺体がトラックで運ばれ埋葬されました。

名も知れず葬られた人々の惨憺たる心情を思い、二度と戦禍に町を晒したくないという鎮魂と平和への願いをこめて、毎年4月13日午後2時からの一時間、南池袋公園「豊島区空襲犠牲者哀悼の碑」前で、心ある人々が寄り合い、ささやかに小さな追悼会を続けてきました。

会場の設営・資材の提供などは、地元町会の方々にお世話になっており、この縁の下の力持ち的地元の協力、豊島区と豊島区町会連合会の後援をいただいてこの会は続けてこられました。

中島飛行機株式会社武蔵製作所 殉職者慰霊碑



基本情報

所 在：東伏見稲荷神社
 住 所：東京都西東京市東伏見1-5-38
 （西武鉄道 西武柳沢駅 徒歩7分）
 連 絡 先：東伏見稲荷神社 042-461-1125
 建 立 者：中島飛行機株式会社武蔵製作所、殉職者慰霊碑建設委員会
 建 立 年：昭和39年12月5日

碑 文

慰霊碑

説 明 文

建碑之由来

中島飛行機株式会社は大正六年十二月群馬県太田町に創立され終戦後富士産業株式会社と改称した。昭和十三年五月北多摩郡武蔵野町西窪に武蔵野製作所が建設され昭和十六年十一月隣接地に多摩製作所が増設され陸海軍に分かれ生産を行った。昭和十八年十月時局の要請により両製作所を合併して武蔵製作所と呼称するに至った。この間従来の従業員に日本全国からの徴用工員男女動員学徒を加へその総数は五万人に及び日夜生産に励み国内第一の航空発動機工場となった。米軍は日本空軍の補給力を全滅するため武蔵製作所を本土編隊爆撃の第一目標とし昭和十九年十一月二十四日の空襲以来終戦まで十数回の爆撃が行われ、爆弾五百発が命中し二百余名の殉職者と五百名を超える負傷者を出し工場は全く廃墟と化してしまった。武蔵製作所はこの爆撃のため終戦後平和産業に転換することができず富士産業株式会社武蔵整理部として整理業務に専念し毎年十一月二十四日を迎える度に戦争の恐怖と罪悪を想起すると同時に平和日本の礎となった殉職者の霊を慰める祭祀を行った。昭和二十三年十月占領下であるにも拘わらず慰霊碑の建立を企図中島飛行機株式会社武蔵製作所殉職者慰霊碑建設委員会を組織し有志の浄財をもって武蔵製作所稲荷神社跡に慰霊碑の建立を行い同時に殉職無縁者永代供養のため武蔵野市源正寺に供養碑を建立した。昭和二十三年十二月東伏見稲荷神社司祭により遺族を迎え除幕式並びに慰霊祭を挙行了。爾来日武蔵整理部従業員有志によってささやかながら祭祀を続けて来たが慰霊碑の完全な保存と永代祭祀のため当初より多大の助力をされた東伏見稲荷神社の好意により境内に遷座することになった。昭和三十九年十一月に遷座を完了し翌十二月全国より遺族を招き遷座祭並びに二十年祭を挙行了。茲に慰霊碑建立の由来を記述して後世に伝え平和日本の礎となった中島飛行機株式会社武蔵製作所殉職者の霊を永えに慰めんとするものである。

昭和三十九年十二月五日
 中島飛行機株式会社武蔵製作所
 殉職者慰霊碑建設委員会

中島飛行機株式会社武蔵製作所 殉職無縁者永代供養碑



基本情報

所 在：源正寺
 住 所：東京都武蔵野市緑町1-6-7
 (JR三鷹駅より関東バス「武蔵野営業所」下車 徒歩3分)
 連 絡 先：源正寺 0422-51-2405
 建 立 者：中島飛行機株式会社武蔵製作所、殉職者慰霊碑建設委員会
 建 立 年：昭和23年12月4日

碑 文

【表】

俱會一處

【裏】

昭和二十三年十二月四日建之
 中島飛行機株式会社武蔵製作所
 殉職者慰霊碑建設委員会

平和観音菩薩像



基本情報

所 在：延命寺
 住 所：東京都武蔵野市八幡町1-1-2
 （JR三鷹駅より関東バス「五小前」下車 徒歩1分）
 連絡先：延命寺 0422-51-8377
 建 立 者：檀家有志
 建 立 年：昭和52年10月23日

碑 文

平和観音菩薩

太平洋戦争が終って三十三年、今や我国は
 経済大国として平和な日々が続いているが、
 私達は陸海空に護国の華と散った英霊、戦火
 に命を失った戦災殉難者のいしづえを絶対に
 忘れることは出来ません。そして痛ましい戦
 争の悲惨と恐怖と罪悪を常に想起して、平和
 に対する努力を怠ってはなりません。

想えば武蔵野市は(株)中島飛行機武蔵製作所
 及びその下請工場が数多く在ったため、昭和
 十九年十一月廿四日、B29による最初の大空
 襲を受け、尔来翌年八月十五日の終戦まで十
 数回の爆撃により工場と付近の民家は廃墟と
 化し、防空壕もろとも一家全滅が続出、その
 死傷者千数百を数えた。当山も至近弾による
 甚大な被害を蒙った。今やその工場跡も平和
 な緑の公園に生れ変わり戦争の足跡は消えた。

茲に終戦三十三年忌を迎え、平和を愛する
 人々の誠願により観音菩薩像を建立して平和
 観音と名付け、二度とこの悲劇を繰り返さな
 いために、その由来を記述して後世に伝え、
 有縁の戦歿者英霊と戦災殉難者の名を刻んで
 冥福を祈り奉る。

本日をして終戦三十三年戦歿英霊、戦災
 殉難者の慰霊と平和観音開眼大法要を厳修し
 併せて世界平和を祈念するものである。

昭和五十二年十月二十三日
 延命寺中興第五世住職少僧正中里崇亮

旧日立航空機株式会社 立川発動機製作所 変電施設、慰霊碑



基本情報

所 在：都立東大和南公園 平和広場
 住 所：東京都東大和市桜が丘2・3丁目
 （西武鉄道・多摩都市モノレール 玉川上水駅 徒歩7分）
 連 絡 先：都立東大和南公園 042-563-2111
 建 立 者：戦災犠牲者慰霊碑建立委員会
 建 立 年：平成7年4月23日

碑 文

旧日立航空機株式会社 立川発動機製作所

太平洋戦争 戦災犠牲者
慰霊碑

戦災犠牲者慰霊碑建立委員会
平成七年四月吉祥日建之

説 明 文

慰霊碑建立の由来

旧日立航空機立川製作所戦災犠牲者の慰霊碑は、一九九四年（平成六年）夏、元同社々員小川準一氏（九十四才）の提唱により、コマツゼノア立川OB会がその推進母体となり、戦後五十周年を期して建立する運動を開始し、五十年忌にあたる翌一九九五年（平成七年）四月二十三日に除幕式ならびに慰霊祭を執り行うにいたったものである。

戦災供養地蔵尊



基本情報

所 在：山中坂
 住 所：東京都立川市富士見町5
 （JR立川駅より西武バス バス停「富士見町五丁目」下車 徒歩7分）
 連 絡 先：個人であり記載せず
 建 立 者：遺族有志
 建 立 年：平成7年4月2日

碑 文

太平洋戦争の末期、立川は一九四五年（昭和二十年）二月十六日から八月二日までの間、少なくとも十三回の爆撃を受け、三百三十余名が犠牲となった。

ここ山中坂にあった横穴式防空壕は、四月四日未明、B29が投下した爆弾が直撃し、中に避難していた子どもたち三十二名をふくむ四十二名が死亡した。

平和をねがい、思いをおなじくする私たちの拳出金と、土地所有者の株式会社伊藤商店のご協力によってこの歌碑を建立し、戦争の悲劇を再び起こさないことを誓います

一九九五年四月二日

歌 碑

山中坂悲歌

作詞 小沢長治 作曲 新田光信

夜明けが遠い 闇の中 山中坂の防空壕に
 息つめよりそう四十一人 子ども年より女の人 爆弾積んだ飛行機がくる

闇をひきさき とどろく音 防空壕に爆弾が落ちた
 埋められた四十一人 子ども年より女の人 二度とかえらぬみんなの命

ああ 悲しみが坂を流れる 桜の花がなきがらに降った
 あの日のように花びらが舞う 山中坂よ 小さなほこら お地藏さまに祈る誓い

あの悲しみをくり返さない あの悲しみをくり返さない

八王子市戦没者慰霊塔



基本情報

所 在： 富士森公園
 住 所： 東京都八王子市台町2-2
 (JR・京王八王子駅より京王バス バス停「富士森公園」下車 徒歩5分)
 連絡先： 八王子市 健康福祉部 健康福祉総務課 042-626-3111 (代表)
 建立者： 八王子市
 建立年： 昭和40年10月

碑文

西南の役から大東亜戦争に至る殉国の英霊および
 戦災殉難の霊をここにまつる

昭和四十年十月
 八王子市長 植竹圓次

八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式



(写真は平成21年度のもの)

開催概要 (平成22年度)

歳時名： 八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式
 会場： 八王子市民会館 ※例年は富士森公園
 (JR八王子駅 徒歩15分)
 日時： 平成22年4月15日(木) ※例年4月15日開催
 参列者数： 約380名
 連絡先： 八王子市 健康福祉部 健康福祉総務課 042-626-3111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式・開会の辞
2. 国旗掲揚…国歌斉唱
3. 市歌
4. 主催者追悼のことば
5. 黙とう
6. 追悼のことば
7. 電報披露
8. 献花
9. 閉式

式辞 (平成22年度)

本日ここに、御遺族の方々をはじめ多数の関係者の御臨席のもと、平成二十二年度八王子市戦没者・戦災殉難者追悼式を執り行うに当たり、先の大戦で亡くなられたすべての方々に、謹んで哀悼の意を表します。

あの長く悲惨な戦争に終止符が打たれてから、六十五年の歳月が過ぎ去ろうとしています。今や市民の皆様が多くが戦争を知らない世代となっております。しかし、先の大戦では、多くの若者が遠く故郷を離れて、凍てつく寒さのなかで、あるいは灼熱の南方の戦地で、祖国を思い、愛する家族の幸せを祈りつつ、帰らぬ人となりました。また、内地においても、激しい空襲により、お年寄り、女性、子供の別なく、尊い命が無残に失われました。

御遺族の皆様には、最愛の肉親を奪われた深い悲しみを背負い、長い苦難の道を歩んでこられた御労苦と御努力に対し、改めて心から敬意を表します。

戦後、わが国は戦争によってもたらされた苦しみ悲しみへの深い反省から、平和の道を歩み、国家再建に邁進してきました。激しい空襲によって焦土と化した街も、国民の不屈の努力により経済復興を遂げ、平和で豊かな社会を築いてまいりました。

本市におきましても、多摩地域最大の都市として発展を続け、先端技術産業が集積する産業都市、二十一の大学を有する学園都市へと変貌をとげました。

現在、私たちがあたりまえのように享受している平和で豊かな社会は、戦没者の尊い犠牲のうえに築かれたものであるということを、決して忘れてはなりません。

平和は、人類共通の願いであります。しかし、世界に目を転じますと、未だ紛争やテロ行為は絶えず、今も女性や子どもを含む多くの人々が、戦火や謂われなき暴力にさらされ苦しんでいます。また、世界は核の脅威下にあり、いまだに核兵器は根絶されることはありません。

今、私たちに課せられた最大の使命は、唯一の被爆国として、全世界の手本となるよう、戦争の悲惨さを風化させることなく、しっかりと次代へ語り継ぎ、だれもが心豊かに暮らせる、よりよい社会の実現に向けて、全力を尽くすことでもあります。

終わりに、戦没者・戦災殉難者の安らかなる御冥福と、御遺族の皆様方の御健康と御多幸を心から祈念し、追悼のことばといたします。

平成二十二年 四月十五日 八王子市長 黒須 隆一

いのはな慰霊碑、戦災死者供養塔



いのはな慰霊碑



戦災死者供養塔

基本情報

所 在：湯の花トンネル付近
 住 所：東京都八王子市裏高尾町 800 付近
 （JR高尾駅より京王バス バス停「蛇滝口」下車 徒歩2分）
 連絡先：いのはなの集い事務局 042-664-8615
 建立者：いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会
 建立年：昭和61年7月28日

碑文

【表】

慰霊の碑

終戦間近の昭和二十年（一九四五）八月五日 真夏の太陽が照りつける午後十二時二十分頃 満員の新宿発長野行き四一九列車が いのはなトンネル東側入口に差しかけたとき 米軍戦闘機P51二機または三機の銃撃を受け 五十二名以上の方々が死没し 百三十三名の方々が重軽傷を負いました この空襲は日本最大の列車銃撃といわれています

私どもは この戦争の惨禍を決して忘れることができません
 ここに 確認された犠牲者のお名前を書きとどめ ご遺族とともに心からご冥福をお祈り申し上げ 現在の平和の日々をかみしめ 戦争を知らない世代へこのことを語り伝えます

平成四年八月五日 いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会

【裏】

戦災死者供養塔は 昭和二十五年八月 当時の上長房（現：裏高尾町、西朝川町）青年団が 亡くなった方々を供養するため 団員協力のもとに建立したものです

供養塔には 亡くなった方々を茶毘に付した日影沢の石が用いられました
 地元に住む人々は 尊い犠牲者のお名前も人数も知ることなく 供養塔の前に手を合わせご冥福をお祈りしていました

昭和五十六年から八王子市教育委員会が八王子の空襲の調査を行い その後あらゆる手だてを尽くした結果 この事件の犠牲者は六十名以上と推定いたしました

そのうち 四十名のお名前と遺族が判った昭和五十九年 遺族関係者、地元の有志により七月二十一日に「いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会」が発足いたしました
 会では この年の八月五日を「供養の日」に定め 毎年供養の集いを行い現在に至っています

供養塔は はじめ唐沢踏切の北側にありましたが 地主のご好意で南側の土地を無償で提供していただき 昭和六十一年七月二十八日現在地に安置されました

かねてから 会では蓄積した浄財で亡くなった方々のお名前を刻んだ慰霊の碑の建立を計画していたところ 平成四年三月 東京八王子南ロータリークラブからも協力の申し出があり ここに念願でありました慰霊の碑が完成いたしました

平成四年六月十日 いのはなトンネル列車銃撃遭難者慰霊の会

いのはなの集い



開催概要（平成22年度）

歳 時 名：いのはなの集い
 会 場：いのはな慰霊碑前
 （JR高尾駅より京王バス バス停「蛇滝口」下車 徒歩2分）
 日 時：平成22年8月5日（木） ※例年8月5日開催
 参列者数：73人
 連絡先：いのはなの集い事務局 042-664-8615

式次第（平成22年度）

1. 開会挨拶
2. 来賓紹介
3. 代表挨拶
4. 追悼のことば… 八王子市長
5. 献花
6. 朗読
7. 遺族会挨拶… 遺族会会長
8. 閉会

挨拶（平成22年度）

遺族会挨拶

私はこちらで戦災死致しました黒柳良子の妹の黒柳美恵子です。奇しくも怪我一つなく助かりました。その八月五日当日も暑い日でした。六十五年の間暑い日、雷が鳴り大雨と色々ありました。そんな長い年月がたちましたが本日も又皆様のおかげを持ちまして慰霊の日に出席出来ます事遺族会といたしまして感謝申し上げます。

当時は空襲もひどくなり両親は母の実家のある長野に行かせる事にしました。戦争に振り廻され少しでも安心な所とえらんでくれたのだと思います。翌日八月六日の早朝父と二人で姉の確認にきました。町の皆様のご好意で雨戸の上に安置され日差しをさけるため木の枝でおおいかぶされていました。たくさんの中から一人さがしました。ご家族の方かと思はれる方から脱脂綿を下さいまして顔をふいてあげなさいといはれました。姉は頭の後から撃たれていましたので顔はひどくなくてよかったと父は話していました。

そんな父もなくなり母もかなし通した姉と同じ八月五日に亡くなりました。
 知らない人は殆んどないこの高尾山にこんなおぞましい事件があった事は知らない方が多いと思います。

六十五年の歳月は若い人には遠い時代の出来事思はれますがそれはやむをえません。でも命は大切にしてください。私達戦争体験者は平和の尊さを皆様に伝えて行きます。最後に皆様のご健勝をお祈り申し上げます。お礼方々ご挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。

遺族会会長 黒柳 美恵子

ランドセル地蔵



基本情報

所 在：相即寺
 住 所：東京都八王子市泉町1132
 (JR西八王子より西東京バス バス停「花川」下車 徒歩1分)
 連絡先：相即寺 042-622-7589
 建 立 者：相即寺
 建 立 年：昭和60年(新しく建立された地藏尊)

説明文

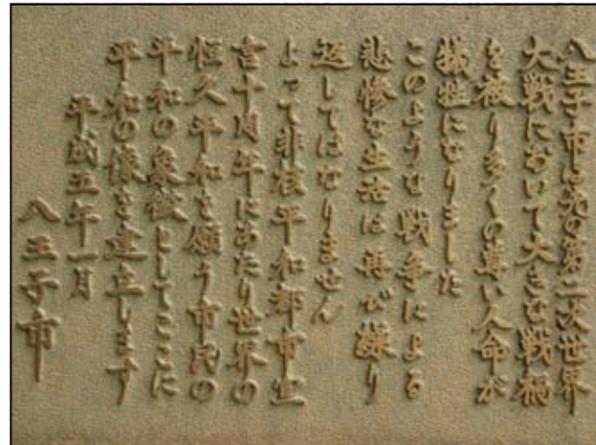
ランドセル地藏尊

昭和二十年七月八日、東京品川の原国民学校四年生神尾明治君が、疎開先の元八王子隣保館保育園で米軍飛行機P51の銃弾を受けて死亡し明治君のお母様が、明治君が使用していたランドセルを、明治君が一番似ている堂内一地藏にかけて東京に帰り、お母様も昭和二十一年二月二十八日死亡した。児童文学作家古世古先生が「家出ねこのナゾ」を書かれて後、初めて真相が判明した。

ご開帳の月日

毎年六月二十三日。七月八日。八月八日。
 午前八時より午後六時まで。

平和の像



基本情報

所 在：富士森公園
 住 所：東京都八王子市台町2-2
 (JR・京王八王子駅より京王バス バス停「富士森公園」下車 徒歩5分)
 連絡先：八王子市 健康福祉部 健康福祉総務課 042-626-3111 (代表)
 建 立 者：八王子市
 建 立 年：平成5年1月

碑 文

【表】

平和

【側面】

八王子市は先の第二次世界大戦において大きな戦禍を被り多くの尊い人命が犠牲になりました
 このような戦争による悲惨な生活は再び繰り返してはなりません
 よって非核平和都市宣言十周年にあたり世界の恒久平和を願う市民の平和の象徴としてここに平和の像を建立します

平成五年一月
 八王子市